

浜田市議会

議長 川神 裕司 殿

# 請 願 書

波佐自治会会長 三浦 兼浩

小国自治振興会会長 榎田 米利

紹介議員 永見 利久

紹介議員 川上 幾雄



請願の件名 波佐診療所の移転拡充に関する請願

#### 請願の要旨

新型コロナウイルス感染症対策の為に改善(診療室の増加、感染予防に必要な動線確保等)が必要となった現在の波佐診療所に代わる医療介護施設として「波佐さんあいホーム」を整備してください。

#### 請願の理由

平素より、波佐・小国地域医療の確保と充実に向けた活動に心から敬意を表します。

令和元年12月、診療所医師の退職に伴う診療体制の変更が公表され、波佐診療所小国出張所の診療日が縮小されました。また、令和2年1月には、浜田市金城高齢者生活福祉センター(さんあいホーム)のデイサービスを廃止することが利用者に通知され、距離や気象等の地理的条件が不利な波佐・小国地域では、民間事業者の代替も厳しいこと、また、地域の医療や介護の環境がどんどん縮小される状況に不安や不満が広がり、地元自治会が中心となって、地域の医療や介護等を考え実践する「波佐小国地域医療等課題検討協議会」を令和2年2月に立ち上げ活動を行っております。

この協議会は、医療介護の課題解決に向けて、波佐診療所や浜田市の関係部署を交え、情報収集や意見交換を行い、地域住民の生活実態の聞き取り調査などを行いながら課題の解決策を模索しております。情報収集の中で表面化した移動手段の確保対策では、協議会を構成する地元自治(振興)会が主体となって、買い物タクシーの運行や無償ボランティア輸送の試験運行を開始しております。

こうした中、新型コロナウイルス感染症対策が波佐診療所でも始まり、身近に受診できる環境には大変感謝しておりますが、診察室が限られ、これまで受けていたエコーや胃カメラなどの検査や点滴、外傷縫合などの治療は、感染症対策と同じ部屋で時間調整が図られ、物療の一部は中止されました。また、狭い空間での待合や移動は大変不安で、これらの早期改善を強く望むものです。

波佐診療所は、無医村の時代に地域住民の懇願により、昭和33年に国民健康保険直営診療所として開所され、今日まで、地域住民はもとより金城地域住民の医療拠点として重要な役割を担っています。

また、平成 11 年に開所された「波佐さんあいホーム」は、地域の高齢者が健康で活気に満ちた暮らしができるよう整備されたものですが、現在は浜田市金城高齢者生活福祉センターに機能が集約され、遊休施設となっています。この活用については、地域においても色々と検討してきたところですが、現診療所に比べて面積は広く、感染症対策で重要とされる動線も確保でき、また、バリアフリーで誰もが利用しやすい施設で、波佐・小国地域の在宅介護を担うヘルパーや訪問看護師、ケアマネージャー等が利用する部屋も確保できる、在宅介護の促進にも大変期待できる施設です。

「波佐さんあいホーム」は、現状の医療介護の環境改善に適した施設と考え、地域住民一同は、この活用を心から願うものであります。

浜田市議会におかれては、実情をご賢察いただき何とぞご理解を賜りたく、地域住民の署名を添えて請願要望いたします。

令和 3 年 2 月 4 日

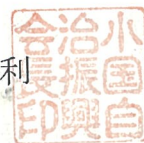
浜田市議会 議長 川神 裕司 殿

請願者

住 所 島根県浜田市金城町波佐イ 441-1  
団体名 波佐自治会  
氏 名 会長 三浦 兼浩



住 所 島根県浜田市金城町小国イ 165-1  
団体名 小国自治振興会  
氏 名 会長 榎田 米利



紹介議員 永見 利久



紹介議員 川上 幾雄



## 波佐診療所の移転拡充に関する署名

柚根町内会	29名	深笹上町内会	14名
徳田上町内会	13名	深笹下町内会	10名
徳田中町内会	24名	後山町内会	9名
徳田下町内会	21名	東谷下町内会	27名
小国郷町内会	42名	東谷上町内会	19名
田ノ原町内会	21名	登り谷町内会	10名
若生町内会	15名	大井谷町内会	39名
西谷上町内会	12名	長田郷町内会	22名
亀谷原町内会	22名		
新井屋原町内会	17名		
馬場町内会	30名		
菅沢町内会	27名		
弋手原町内会	36名		
三栄町内会	40名		
署名合計	499名		